

日本林政ジャーナリストの会・共同取材のお知らせ

日本林政ジャーナリストの会は、下記の日程で令和7年度第1回共同取材を行います。

広葉樹林業の可能性と広葉樹材の利活用（北海道）

日程： 令和7年6月25日(水)～27日(金)

集合場所： 旭川空港 6月25日(木) 11:00

宿泊： 6月25日(水) 五味温泉 26日(木) 東横 INN 旭川駅東口前

解散場所： 旭川空港 6月27日(金) 16:00

取材内容： ①下川町の先進的林業、②北海道大学雨龍研究林(白樺プロジェクト)、
③三津橋産業、④旭川銘木市、④旭川デザインセンター、⑤カンディハウス

参加人員： 15名(先着順) 参加費用： 30,000円

<p>①経済→森林総合産業</p>  <p>森林資源を余すことなく使う</p> <ul style="list-style-type: none">■ 林業(生産)×林産業(加工)×森林バイオマス産業等(需要) = 森林総合産業■ 森林文化創造 ✓15年一貫の森林環境教育など	<p>②環境→エネルギー自給</p>  <p>森林バイオマスの活用</p> <ul style="list-style-type: none">■ 現在 ✓熱自給率：45%■ 将来 ✓電熱自給率：100%	<p>③社会→超高齢社会対応</p>  <p>集落再生モデル創造</p> <ul style="list-style-type: none">■ 一の橋集落の再生 ✓(H21)人口95人、高齢化率51.6%■ 経済×環境×社会の好循環化で再生■ 生産年齢世代増加 ✓新しい「ひと」の流れが創出
--	--	--



日本林政ジャーナリストの会の令和7年度の研究テーマ「広葉樹林業の新時代」に基づいて、北海道で第1回共同取材を行います。下川町は、木質バイオマスによるエネルギー自給や循環型林業など先進的な林業を展開しています。北海道大学雨龍研究林では、白樺プロジェクトを視察します。三津橋産業は道産材を積極的に利用しています。旭川の木材市場は全国有数の広葉樹材の集積地です。さらに、旭川地域のデザインの祭典「あさひかわデザインウィーク」の中核となる旭川家具組合主催の「Meet up Furniture Asahikawa」を視察の後、カンディハウスを訪問して、道産広葉樹の家具製造を視察します。参加希望の方は、氏名、所属及び連絡先をご記入のうえ、令和7年6月13日(金)までに日本林政ジャーナリストの会幹事・事務局長の上河潔(k.kamikawa@live.jp)までお申し込みください。